最期まで「どう生きるか？」の話し合い

人生会議　ACP エーシーピー

誰にでも、命に関わるような大きな病気やケガの可能性があります。そんな状態になると、約7割の人は医療やケアについて、自分で決めたり伝えたりができなくなると言われています。あなたはそんな時、どんな生き方を望みますか？

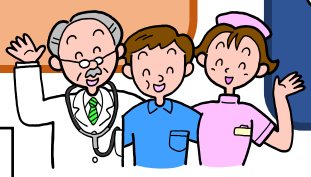
そして実際には、医療・ケアの担当者を含むまわりの人が、本人の代わりに本人の思いを推しはかりながら、医療やケアを決めていくことになります。

事前に自分で考え伝えることが、望みの実現につながります。

1.大切なことは何？
考えてみましょう

2.自分が思いを
あずけることが
できる人（代弁者）
を考えてみましょう

3.代弁者や周りの人
と話し合いましょう



4.話し合い結果を
まわりの人に
伝えましょう

私の4つの大切な覚え

人生の長い流れの中には、病気などで自分自身のことを自分で決めることができないようなことが必ず起こります。その時のために、大切なことを紙に記しておきましょう。

名前　　様	電話　　－
生年月日　大正 昭和 平成 令和　年　月　日	住所　碧南市　　町
緊急連絡先　名前　　様　続柄（　　） 電話（　　）　－	

1．あなたの気持ちの代弁者
あなたの代わりにあなたの気持ちを伝えて欲しいのは誰ですか？

名前（続柄）	住所	電話
様 （　　）	県　　市	（　　） －

2．かかりつけ医療機関など
ご自分で書かれるか、かかりつけの方に書いてもらいましょう。

病院 診療所	歯科医院
薬局	訪問看護
ケアマネ	その他

話し合いには、**私の4つの大切な覚え**をぜひご利用ください。

＜設置場所＞
碧南市役所高齢介護課　地域支援係
碧南市内３ヶ所の地域包括支援センター
※碧南市・碧南市民病院のホームページからダウンロードいただけます。

＜問合せ＞
碧南市在宅医療サポートセンター(0566)46-8055
碧南市高齢介護課　地域支援係　(0566)95-9890